

## —北陸地方整備局—

## 関屋モリ上げ隊（関屋出張所管内若手・女性技術者連絡会）について

## 1. はじめに

## 1) 信濃川下流河川事務所関屋出張所の概要

信濃川は、千曲川という名で長野県内を流れ、新潟県に入ると信濃川と名を変え、越後平野を潤し、日本海へと注いでいる延長367kmの日本一の大河であり、河口部には本州日本海側最大の政令指定都市、新潟市がある。

信濃川下流河川事務所は、大河津分水路洗堰の下流から河口までの約60kmを管理しており、関屋出張所は、その内の下流部の約30kmの河川をはじめ、新潟大堰、信濃川水門、鳥屋野潟排水機場、西川排水機場等の大規模河川管理施設を受け持つほか、新潟海岸における侵食防止の海岸保全施設整備事業を担当している。

## 2) 関屋モリ上げ隊の概要

建設業は現在、若年層労働者の大幅な減少等の理由から、慢性的な人手不足の状態にある。また、建設業従事者の年齢層も非常に高くなっており、技術力を備えた担い手の確保及び、若手技術者の育成のための活動が必要不可欠な状態である。工事受注者からも、若手技術者の離職率が高く、対策が必要との声が聞こえてきていたため、それらの問題への一助となるよう、関屋出張所では受発注者双方の若手技術者を対象とした「関屋モリ上げ隊」を平成29年度に結成した。活動のテーマは主に、『地域貢献活動』、『建設業のPR』、『技術力向上』とし、若手・女性技術者自らの提案・議論に基づいた活動を継続している。

## 2. 関屋モリ上げ隊の活動

## 1) 関屋モリ上げ隊の活動例

平成30年新潟シティマラソンにおいて、関屋モリ上げ隊が沿道で応援活動を行うという新たな試みを実施した。これは、マラソン経験者の、ある関屋モリ上げ隊員の発案であった。応援活動を行うと共に、のぼり旗を掲揚することで、約一万二千人のランナーにハイタッチ等の応援を行った。ランナーからの記念撮影をお願いされることもあり、関屋モリ上げ隊としての宣伝活動にもつながった。主催の新潟市からも、ぜひ次回も応援を！と要請を受けた。



新潟シティマラソン モリ上げ状況（2018.10.8）

ICT河川浚渫の現場見学会を平成30年度に行い、工事概要、施工方法は関屋モリ上げ隊の隊員が説明者となったことで、現場担当隊員の技術力向上にもつながった。各隊員においても、先進事例の技術を学び、スキルアップにつながり“相談相手”が出来た。

## 2) 令和元年の活動

平成29年度の立ち上げから3年目に入り、年度当初から数多くの活動を図ろうと、前年度から計画書を作成するなど隊員の意識もどんどん向上し、今年度も花文字花壇イベントや新潟まつり前のクリーン作戦などの活動を行っているところである。



令和元年度関屋モリ上げ隊結成式（2019.5.17）

## 3. おわりに

若手・女性技術者の社外かつ受発注者間の所属を越えたネットワークの構築および各メンバーの他組織の認識度の向上も図られている。また、他隊員の行動や技術力を見て自己研鑽意識の高揚のあった隊員もいる。若手・女性技術者の活動を陰からモリ上げていきたい。（令和元年7月現在 男性8名 女性4名）

（国土交通省 北陸地方整備局 信濃川下流河川事務所  
関屋出張所長 波多野 政博）